

中山 真一

札幌市議会維新の党

市議会奮戦記 2016年特別号



発行:札幌市議会議員 中山真一事務所【討議資料】

〒011-0027 札幌市北区北27条西6丁目1-26

TEL: 090-2541-8286 / FAX: 011-727-0877

E-mail: nakashin27@gmail.com HPリニューアルしました! <http://snakayama.net>

ビジネスマンから転身、北区から市民目線の改革を実現!

昨年4月の札幌市議会議員選挙において、8,847票の付託を頂き、初めて議会に送り出して頂きました。議会の常識は世間の非常識。身内に政治家がいる訳でもなく秘書上がりでもない私にとって、議員としての日々は驚きの連続でした。特に一部の議員や市役所職員の危機感のなさ、現場感の無さは想像を超えていました。日々の生活に奮闘されている市民の皆さんとのギャップに、かく然としたことも、一度や二度ではありません。

一方で、この世界は民間のスピード感では到底動かないという事も痛感しました。一つ一つの変化は、とても時間がかかります。今後も粘り強く市政に風穴を開け続け、市民目線の改革を進めていきます。想像されている以上に、市政は私たちの生活に直結しています。たとえ無関心でも無関係ではられません。

あなたのちょっとした声や疑問が議会での提言や質問となります。

今後も声をお聞かせください。

これからの札幌の未来を、ぜひ一緒に考えていきましょう!



中山真一 プロフィール

1973年2月7日生まれ。青山学院大学 法学部 卒業。

大手プロダクション、音楽制作会社にて、営業・宣伝・新規事業開発・マネジメント等を担当。

北海道マーケティング総研(株)にて、道内企業の海外進出・輸出支援・海外での北海道キャンペーンを担当。

2015年4月札幌市議会議員選挙 初当選。札幌市議会維新の党 経済委員会。

大都市税財政制度・人口減少対策調査特別委員会。議会機能強化・改革検討委員会委員。

家族:妻、妻の母、愛犬マール 趣味:ランニング、読書、神社めぐり



中山真一 市政改革への挑戦 進行中

1. 議会改革

●「議員報酬3割削減」に向けて:まずは実験を始めています。

議員の間でよく耳にするのは「今の報酬でも足りないくらい」という事。これを最初に聞いた時には、市民感覚とのズレに我が耳を疑いましたが、それだけ政治(選挙?)にお金がかかるという事なのか。まずはできることから、「3割削減した額でやっていけるか」を実験中です。議員報酬は年間1,188万8,848円(2015年度の額面、ボーナス込)。年間報酬の3割に当たる356万6,925円(月毎の3割の合算)を法務局に「供託」(≒受け取り拒否)しています。

※議員報酬というのは法律上「受け取り拒否」することができず、また議員職にある時に特定の団体に寄付・譲渡することも公選法で禁止されています。そのため、法務局に一時的に預けておくことが「供託」という仕組みです。議員職でなくなれば、どんな団体に寄付することも可能ですから、その時に社会にとって有効な使い方をしたいと考えています。その時は市役所に返すこともできるようです。 <裏面につづく>

中山真一事務所 〒011-0027 札幌市北区北27条西6丁目1-26
TEL: 090-2541-8286

中山 真一 市議会奮戦記

札幌市議会維新の党

札幌市議会維新の党 中山真一 市議会奮戦記

●「市議会議員の期末手当(ボーナス)を増額する議案」に、全議員の中でただ一人反対。多くの市民の生活実感が向上しない中での、議員のボーナス増は理解できません。しかしながら、自民・民主・公明・共産などの賛成多数により、ボーナスは増額が決定。(’15.12.10定例議会)

●議会改革検討委員会に参画。2016年度は議員報酬削減や定数削減について議論していきます。



2. 行政改革

●市政のムダ・非効率を解消し、限られた財源を有効活用するため、過去の延長線上の手法ではない、「聖域なき事業の見直し」を求めました。

市長より、経営資源の有効活用や内部管理業務の簡素化・委託化を進めるなど、不断の行政改革に努めるとの答弁。(’16.2.29代表質問)

●市の「出資団体(外郭団体)改革」について。改革を実効性のあるものにするため、行政内部だけの議論でなく、外部の目を入れて検証していく事を提言。

市長より、外部の有識者など専門的な見地から意見を頂くことも検討する旨の答弁。(’16.2.29代表質問)

3. 子育て支援・教育

●子育ての負担を減らすため、子育て支援の拡充、特に「子供医療費無料化」の拡大を求めました。

市長より、施策全体の中での位置付けや財政状況を見極めながら、さらなる無料化の拡大について、進めていきたいとの答弁。(’16.2.29代表質問)

●「放課後子どもの学習支援」について。一人でも多くの子どもに参加できるように、事業の見直しを提言。学習塾をはじめ、スポーツや習い事にも利用できるカードを交付する制度の導入を提案。

市側より、本市の学習支援の仕組み等を踏まえ、この制度についても検討していく事が必要との答弁。(’15.10.9特別委員会)

●子どもの「学力向上」のために、「全国学力テスト」の点数についての目標を設定し、進捗管理、成果の検証を行うべきと提言。

市側からは、学ぶ意欲や学力の要素をバランス良く育む必要があると考えるため、学力テストの点数といった目標は設定しないとの答弁しか得られず。(’15.11.4特別委員会)

今後も粘り強く、子どもの学力向上に向けた取り組みを求めていきます。

4. 仕事・経済

●「市民の所得を増やす」。そのためには、企業の稼ぎを増やす事が不可欠。企業が活動しやすい環境づくりのため、規制緩和や制度改革などの取り組みを進めるべきと提言。

市側より、社会実験や特区制度の活用による規制緩和も早急に検討、札幌の活性化につながる仕組みを検討していきたいとの答弁。(’15.11.4特別委員会)

●「企業の海外展開支援」について。海外展開支援や観光客誘致を一層強化し、相乗効果を発揮するためには、北海道と連携した具体的な取り組みを進めるべきと提言。

市長より、北海道がシンガポールに設置した拠点を活用し、新たな輸出ルートを連携して構築する取り組みを行い、戦略的な施策展開を進めていきたいとの答弁。

(’16.2.29代表質問)

今回の「市議会奮戦記」はいかがでしたか? ぜひご意見をお聞かせください!

送付先:FAX 011-727-0877 E-mail: nakashin27@gmail.com

(市政に関する事なども、ご自由にお書きください)

市役所にお越しの際は、会派控室にお気軽にお立ち寄りください!

(不在の場合もごさいますので、お越しの際は事前にお電話頂けると助かります)

お名前:

お電話番号:

ご住所:



中山 真一 市議会奮戦記

札幌市議会維新の党